

蒼葉

裾野市立深良中学校だより

平成 25 年 3 月 10 日発行

第 38 号

発行人 校長 鈴木史良

県公立高入試が終わる

—— 緊張した5教科テストと面接を体験して ——

3月5日（水）、6日（木）と県公立高校の入学試験が県下一斉に行われました。本校3年生が受験した県公立高は小山高、御殿場高、御殿場南高、裾野高、沼津東高、三島北高、三島長陵高、市立沼津高の8校です。私立高への進学が決定している生徒11名を除き、計26名の生徒たちが受験に臨みました。

初日はあいにく雨模様の天気になりましたが、2日間とも無事に受験を終えることができました。後は14日の発表を待つばかりです。受験を終えた生徒たちの感想を掲載いたしますので、ご一読ください。

【生徒の感想】

●僕が受験した高校は、駅から離れた場所にあるので、高校へ行くにもかなりたいへんでした。また、雨が降っていたので気分も落ち込みましたが、テストは落ち着いて行うことができました。面接は練習の時よりも緊張しましたが、自分の伝えたいことを言えてよかったです。今までの努力を裏切らない、よい結果になればよいと思います。（御殿場高校受験生徒）

●御殿場はまだ雪が残っていて、とても寒い中受験しました。テストでは、1時間目の国語はとても緊張しましたが、2時間目からはふだん通りの気持ちで解くことができました。面接はたくさん練習したこともあって、スムーズに行うことができました。今まで頑張ってきたことをすべて出し切ったので、よい結果になってほしいと思います。（御殿場南高校受験生徒）

●電車に乗っている時、とても緊張しました。学力テストは自分の勉強したところがあまり出ておらず、苦戦しました。周りの友達が「たくさん解けた。」と和気あいあいの中、不安でいっぱいになりました。面接はもう自分が何を言ったか覚えていません。面接官の表情を思い出すだけで恐ろしいです。胸を張って、よい結果を残せたとは言えませんが、合格してると思います。（裾野高校受験生徒）

●人生に一度しかない高校受験ということで、塾や家族、友達からたくさんの支えがあり、緊張しましたが、テストでは自分の力をすべて引き出せたと思っています。面接では練習した通りにできたので、結果はどうであれ悔いはないと思います。残りわずかな中学生生活も気を緩め過ぎないようにしていきたいです。様々な指導をしてくださった先生方、ありがとうございました。（三島北高校受験生徒）



寒さ厳しい早朝の駅にて



受験のために集中する3年生

来年度前期生徒会立会選挙で新役員決定！

3年生が県公立高の入試2日目に臨んでいた3月6日の午後、本校では次年度前期生徒会本部役員に立候補した7名の生徒たちの立会演説会が行われ、演説終了後に投票が行われました。その結果、生徒会長として渡邊正樹さん（新3年）、副会長として志村侑香さん（新3年）と宮部楽音さん（新3年）、庶務として鈴木亮馬さん（新2年）、土屋明日香さん（新2年）が新生徒会役員となりました。

その中から新生徒会長として土屋葵会長のあとを継ぎ、深中生をますます『豊かな学びで世界に羽ばたく生徒』に近づけようと意気込む渡邊正樹さんの演説を以下に掲載いたします。



生徒会長に立候補した渡邊正樹です。僕は2回の生徒会役員経験を通し、生徒会に足りないものは何かを考えました。それは、生徒会役員で決まったことを素早く実行に移す行動力だと感じました。この問題を解決するには生徒会役員の協力と引っ張っていく会長が必要だと考えました。僕は生徒会を2度経験したことにより、全体の流れを把握できているので効率よく仕事をすることができます。

深良中では地域だけでなく、世界にも目を向けてきました。後期生徒会では Global Eye を中心として世界の現状を知ること、地球が今深刻な環境問題を抱えていることを知りました。中でも地球温暖化防止に目をつけ、古紙回収など様々な活動を行ってきました。そこで大切になってくるのが各学級の連携でした。僕は他の委員会や学級との相互関係を今以上に大事にすることで、深良中全体が一つの目標に向かって行動することができると思います。何か新しく行動するときには、失敗したらどうしよう、うまくいかないのではないかと等々の不安がつきものです。僕は失敗を恐れませんが、何事もチャレンジしていく気持ちを大切にしていきます。

僕が好きなサッカー選手にロベルト・バジジョという人がいます。彼はこう言いました。「PKを外すことができるのは、PKを蹴る勇気をもった者だけだ。」と。失敗から学ぶことも多くあります。失敗を恐れずに挑むことで新しい発見もあると思います。僕はこうしたチャレンジ精神をもち、深良中を引っ張っていきたいと思います。

北尾先生、最優秀賞を獲得！（県教職員芸術祭写真の部）

今年度の県教職員芸術祭写真の部で、本校北尾昌彦先生が撮影した作品「旅の思い出～セントマーチン島」が最優秀作品に選ばれました。セントマーチン島のビーチは頭上すれすれに飛ぶジェット旅客機が有名で、そのビーチに立つ人々のわずか数十メートル上空を飛来するジェットを捉えた写真は迫力十分です。一昨年家族旅行した時に撮影したものだそうです。おめでとうございます。

